

「8020運動」を知っていますか？

6月4日(金)は虫歯予防デーです。その日から一週間(4日～10日)は歯と口の健康週間となっています。



「歯」に関係することで8020運動というものがあります。どういった運動かというと平成元年より日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。その為、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まりました。楽しく充実した食生活を送る続けるためには、生まれてから亡くなるまでのすべての生活の中で健康な歯を保つことが大切です。ぜひ「8020」を目指してください。いつまでもおいしいものを食べ続けるための元気な歯は日々の手入れが大切になりますね。

<嘱託医のさくらい歯科クリニックの櫻井先生からのアドバイスです>

- 虫歯を放っておくと永久歯に影響が出るので早めに治療するといいです。穴が開いた状態で放置していると永久歯は乳歯を避けて曲がって生えてきます。
- 大きくなって自分で歯を磨くようになって、磨ききれていないところがあるので最後の仕上げは保護者の方が丁寧にあげると良いです。
- 歯並びが悪くなる、あごが狭いお子さんが増えています。硬い食べ物を食べたり、よく噛んだりすることが大切です。

5月17日に安田女子大学教授(美術教育学)の藤原逸樹氏の造形表現について講習を受けました。藤原先生は美術教育とは乳幼児から大人までの生涯教育と捉え、「みたり、かいたり、つくったり」する活動を通して感覚、知覚、思考力などを働かせ、その力を育むことができ、子どもの思いや願いをそのまま形や色に置き換えていくことは個性尊重の有効な役割を果たすと考えていると言われていました。実際に様々な技法や道具で造形活動をする職員も笑顔がいっぱいで、子どもたちにも「楽しい」をたくさん感じながら活動をして欲しいとより感じました。活動中に「良いところを具体的に褒める」「誘導や意見を入れるのではなく、子どもが良いと感じたことを肯定し、満足するまでやる」など造形だけでなく様々な活動にも大切なことです。

6月からは気温も上がり、感触遊びや絵の具を使った活動も増えてきます。楽しみながら子どもたちの様々な感覚や感性を育めるよう取り組んでいきます。洗濯物など増えると思いますがご協力お願いいたします。

「つくる活動」や「かく活動」には			
表出		表現	
形にならない 造形 やぶる 壊す ばらまくなど		形づくる 造形 並べる 積む 組む 描くなど	
0歳	～	3歳	～



◎小さい時にたくさんの素材に触れ、無作為な行為の中の壊すやばらまく活動から形づくる表現へ繋がっていきます。小さい子どもたちの積んで壊すを「もったいない」でなく「バラバラ楽しいね」で見えあげることや新聞紙ちぎりや積み木などを並べて壊すなどの遊びもご家庭でも楽しめるといいですね。

<お願い>

- ・衣服の調節や着替え等がしやすいよう、ロッカーの中の着替えの確認や補充をよろしくお願いします。
- ・衣服や持ち物への記名を必ずお願いします。字が薄くなってきたものは見えるよう書いてください。
- ・クラスだよりにより子どもの成長の姿や取り組み、お願い等が書いてあるので毎月読んでください。
- ・お迎えの後、園庭で遊ぶとケガに繋がりますので遊ばずに帰りましょう。また、駐車場や道路も子どもの姿が見えにくいので子どもから目を離さず、十分に気をつけてください。